

不安と孤立を
見捨てない

石坂わたるの

たつのこ通信

中野区議会議員・無所属



<http://ishizakawataru.net/>

✉ [@09wishiakaza@mbr.nifty.com](mailto:ishizakawataru)

お天気は毎日がいいです

[編集・発行] 共生中野 〒164-0014 中野区南台2-51-7-305 TEL&FAX.03-6304-8758

[中野区議会] 〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL.03-3228-8874(無所属院)

見捨てない三大不安

1 老後の不安をなくす

～介護の切り下げる対応～

介護保険の対象が縮小し、軽度な介護度の方の対応が急務です。石坂わたるは家事援助について、従来のホームヘルプサービスと同程度の買い物や料理や掃除など日常の生活を支えるために社会福祉協議会のほほえみサービスを活用し区が利用料の補助をする形を提案しています。

これまでの実績と経験を活かし誰もがつまづいた時には支えあうことができるまちづくりをすすめます。

2 子育ての不安をなくす

～待機児童解消と、
育児の孤立による虐待を防ぐ～

認可保育所を増やすための予算がつきました。また虐待を受けている子どもの区の施設での保護を始めました。

3 雇用の不安をなくす

～生活困窮状態の改善と予防～

職場でのハラスメントやワーキングプアなどの解消に向けた取り組みが必要です。なお、失業後に働く意欲を失ってしまった人々や、生活習慣やコミュニケーション能力に課題のある人への就労支援をスタートさせました。

石坂わたるの 議会質問後 こうなりました!

(○は実現、●は新年度予算で実現)



災害対策

○段差消が必要な全災害用避難所に車イス用簡易型スロープの購入

●災害後の停電時に、非常用電源で動く、住民情報などについての簡易サーバーシステム構築

○区の防災訓練における車いす利用者の避難の訓練、ベッドで寝たきりの方の安否確認の実施

○被災地派遣職員による復興状況報告発表の実現

外国人にも暮らしやすいまち

○区の外国人向けの広報誌を大学の寮や校内掲示板での配布・掲示。

●タブレット端末を使った外国人向けの多言語通訳システムの導入

平成27年第1回定例会
(2月19日～3月13日)

一般質問

認可保育所の定員確保を
しっかりと進めるべき

石坂 認可保育園の新規開設が進まない。今後、認証保育所の認可化をどう考えるか。

田中大輔区長(以下区長) 希望する認証保育所へは、必要な施設整備の補助や手続きの情報提供を行い、円滑に認可保育所に移行できるよう支援する。

【用語解説】

認証保育所: 国基準の認可保育所に対する、都基準の保育所です。長時間保育の提供などが義務付けられている反面、「保育従事職員に占める保育士は6割以上でよい」「0~1歳児の一人当たり基礎面積が狭く設定されている」などの特徴があります。

保育所等における障がい児の
対応力の向上を

石坂 南部にできる障碍児施設でも、発達障がい児等の保育を支援する巡回訪問を行い、拡充すべきでは。

区長 南部地域の施設でも、同様の事業を実施する考え。

地域の特性を生かした
グローバル化を

石坂 中野区グローバル戦略推進協議会が設置された。「中野区の歴史・文化・地域や住民の特性」「国際化」を融合するグローカルな視点も必要では。

区長 外国人が中野の歴史や文化など、地域特性を理解して溶け込めることが大事。しっかりとした情報発信等が必要。

【用語解説】

グローカルとは、全世界を巻き込む「グローバリゼーション」と、地域の特色や特性を考慮する「ローカリゼーション」の混成語です。

性的マイノリティの住民が抱える
悩み事や実態の、的確な把握を

石坂 性的マイノリティ(LGBT)が相談可能な窓口のPRの状況は、区民や職員; LGBTについて理解する機会をどのように増やすのか。

区長 相談内容の見直しも含め、誰もが相談できる窓口としてPRを進めたい。これまで区民や職員に対して人権研修や啓発を行ってきた。より十分な課題把握とその解決に向けた取り組みについて、研究を深めたい。

石坂 他自治体は「同性カップルの保障」「LGBTの生活における困難さや不安感・立派の解消」のための取り組みについて討している。それらの把握や、必要な取り組みの研究・検証が望まれるのは。

区長 今後の議論に注目をしたい。

【説明】他自治体の動向例

渋谷区: 同性カップルの証明書について条例案が議会に提出された。

世田谷区: 相談窓口の明確化と広報の充実化。四国中央市: 全職員が研修を受講。

大阪市淀川区: LGBT当事者と区職員の意見交換会・区民・区内企業・官公職員向けの講演・研修会・専用電話相談、コミュニケーションベースの開放。



平成27年第1回定例会 総括質疑

卒業後を見据えた不登校・
引きこもりの子ども支援を

石坂 不登校のお子さんには発達に偏りのある場合や知的能力がグレーゾーンの場合、フリーステップルーム(適応指導教室)と教育センターの連携で専門的支援が進むか。

教育委員会会長 家庭支援や、卒業後の進路も視野に入れた連携を図る。

石坂 教育センターの相談ケースを適応指導教室に繋ぐことも必要では。

指導室長 円滑な連携をしていく。

【用語解説】

適応指導教室: 長期欠席をしている不登校の小中学生を対象とした教室。そこで学習の援助をしながら本籍校の復帰を目標にしている。

特別支援教育と児童福祉サービス
のコーディネート機能の強化を

石坂 「教育／福祉サービスを組み合わせた計画作成」「コーディネートができる人材の育成」「義務教育修了前の発達障がい児の引継ぎの部署間連携」につき、すこやか福祉センターがイニシアチブをとるべきでは。松原弘宜支えあい推進室副参事(中部すこやか福祉センター地域ケア担当) 利用者目線に立って、関係機関と十分な情報共有と連携を持って支援に努める。その際すこやか福祉センターが積極的に関わる。

3月24日	区立新山小学校放課後
3月20日	区立西中野中学校放課後式
3月19日	区立あさぎり幼稚園園地式
3月14日	中野区立保育園園地式
3月13日	中野区立保育園園地式

3月24日	中野区立保育園園地式
3月20日	中野区立保育園園地式
3月19日	中野区立保育園園地式
3月14日	中野区立保育園園地式
3月13日	中野区立保育園園地式

3月24日	中野区立保育園園地式
3月20日	中野区立保育園園地式
3月19日	中野区立保育園園地式
3月14日	中野区立保育園園地式
3月13日	中野区立保育園園地式

3月24日	中野区立保育園園地式
3月20日	中野区立保育園園地式
3月19日	中野区立保育園園地式
3月14日	中野区立保育園園地式
3月13日	中野区立保育園園地式

3月24日	中野区立保育園園地式
3月20日	中野区立保育園園地式
3月19日	中野区立保育園園地式
3月14日	中野区立保育園園地式
3月13日	中野区立保育園園地式

増え続けるHIV・エイズの
予防啓発と感染者への理解を

石坂 障害者手帳取得者数で見ると、中野区ではHIVを含む免疫機能障がい者の数が、視覚障がい者の数を上回った。感染が広がりやすい層への対応や対策をどう行うか。
坂野晶司 健康福祉部副参事（保健予防担当）
若い世代や同性愛者への普及啓発は非常に重要である。

石坂 保健所での日曜日のHIV即日検査は評判がよく需要も多い。27年度予算の増額により申し込み枠が増えたが、さらなる定員見直しは行うのか。

坂野副参事 必要な機会を確保したい。

石坂 現状の検査と相談は予防啓発にもつながっているか。

坂野副參事 そのとおりである。

石坂 障がい者福祉に関わる公務員や事業所にHIVへの理解を深めることができるように、保健所の保健師が医療機関やNPO／当事者団体と連携を図るべき。

坂野副参事 関係機関や関係者へのHIV感染者に対する理解促進を図る。拠点病院やNPO、当事者団体との連携を強めたい。

平成27年第1回定例会
予算分科会(総務分科会)

質問

戦後70年にふさわしい
平和・人権の取り組みを

- 戦後70年の平和事業につき、第二次世界大戦時には人權抑圧があったことに触れ、人權に関する事業も併せて取り組みしてほしいと要望しました。
 - 区施設の現状を把握するための施設白書が昨年つくられたことについて、施設の在り方を考える施設総合管理計画を来年度どうするのか説明いただき、「つかいこみ検討会を行

ていく前の答弁がありました。

- 来年度始まる法律事務所との法律顧問業務について、自治体内に常勤の任期付き職員を置くメリットを説明した上で、なぜ法律顧問契約したのか質問しました。任期付き採用も今後の検討課題との答弁がありました。
 - 「区民の声」で手話通訳の予算がなくなった理由を質問しました。利用実績がないための廃止ではあるが、要望があれば他の予算枠組みで対応できるとの答弁がありました。今後の手話通訳の周知を重ねて要望しました。
 - 明るい選挙推進活動として行う小中学校での模擬投票について、その事業目標を質問しました。子どもたちの政治課題認識の向上が目的のこと。成果目標は特に設定しないが、地道に行っていくとの答弁がありました。

平成27年第1回定例会
需賀対策特別委員会(3月12日)

サラリーマン以外の災害時帰宅困難者の想定も行うことが必要

区の災害時帰宅困難者の想定では、帰宅困難者の数が多くなる平日夕方の18時がモードルとなっています。しかしまつと早い時間の場合、帰宅困難者総数は少ないものの、子どもや障がい者を含む多様な層が帰宅困難に陥る可能性を指摘しました。今後、想定をさらに詰める際や訓練等を行う際には、この点も踏まえて行ってほしいことを要望しました。

平成27年第1回定例会
総務委員会(3月9日、10日、13日)

特別支援教育の推進に必要な 予算措置を

- 平和の森公園への新体育館建設に関し、遺跡や平和資料館がある同公園について、文化・歴史・自然もなおざりにしないよう要望しました。
 - 特別支援教室に関し、各校における教材を含む備品等の購入について、従来の情緒障害特別支援学級(通級)がある学校にも、新たに特別支援教室整備を進めるための予算がつづくを確認いたしました。

【用語解説】

情緒障害特別支援学級(通級):発達障がい児等が週に1~2日通う特別支援学級。(それ以外の日は通常の学級に在籍)区内で数校に設置。

特別支援教室:特別支援教育巡回指導員が各校を巡回して発達障がいの子どもの指導を行う。全校に設置予定。



石坂わたるの
活動報告



